

夜の焼き肉屋

【一度しかない人生。夢を追いかけることも大事】

T君は、中学3年生になってからさまざまな事情があり学校を休みがちになった。一つの理由は父親との確執である。そのことを私は随分と後になって他の生徒から聞き知った。休んでいるうちに授業は進んでいく。ますます学校のことを思うと気が重くなるようだ。

それでもT君、放課後友だちがいなくなった学校には来ることができた。週に何度かT君は夕方学校に来た。誰もいない夜の教室で勉強をやり、私と話をして帰っていく。ある日T君と話をしていた私は、いつもより空腹を感じたので、T君を食事に誘った。折しも「狂牛病」の騒ぎの最中、隣町にある焼き肉屋は、ほとんど客がいなかった。

静かな店内で二人で焼き肉を食べた。T君は話をするのは嫌いではない。とりとめのない話をしたように思う。T君は、自分の将来の夢を話し始めた。

音楽の好きなT君は、ミュージシャンになりたいようだ。しかし、夢を実現するために何をどうしたらいいのかわからないと言う。

「中学の時には、国語や数学などの基礎的な勉強をしっかりとっておくことも大事だぞ。」

などと、私はありきたりなアドバイスしかできない。

「そうですよね。」

そう言った後、T君はポツンと呟いた。

「先生、俺自分の子どもができれば、俺の親のような育て方はしない。」

そうか、T君はT君なりにいろいろ考えているんだなあ、と思った。

5年後、T君は音楽の勉強のために外国に留学をした。そのための費用は全て父親が工面してくれたようだ。先日、同級会がありT君と久しぶりに話をした。

「今は、親父に感謝している。先生、俺も30歳に近くなった。いつまでも夢を追いかけていてはダメなのかなあ、と最近考えるよ。」

今T君は、アルバイトをしながら、自分の夢を追いかけている。T君はT君なりにいろいろ考えている。頑張れ！